



「中体連夏季総合体育大会」

校長 望月雄紀

梅雨入りを気にする季節になりましたが、今年は平年より10日前後遅い5月21日に梅雨入りしたと見られると発表がありました。何より、心配された貯水率が梅雨入り後の雨で平年並みになったことには安堵しましたが、夏季大会前の練習時間の妨げになっていることや登下校時の大雨に濡れて体調不良にならないかなど、心配はつきません。

そのような状況の中で、本校では部活動主任の武富星哉教諭の企画で部活巡りを実施しました。これは、教師が生徒と一緒にプレー（試合）をしながら、大会での活躍を激励するために企画されました。

私も参加して一緒にプレーしましたが、生徒がいつも一生懸命に練習に励んでいることを肌で感じることができました。普段見られない対戦に、観戦している生徒も大いに盛り上がっていました。

5月22日の放課後に部活動激励会が開催され、それぞれの部活動のキャプテンが意気込みを発表しました。校長より以下の激励の言葉を伝えました。

「3年生にとっては、3年間の集大成の大会となります。25日土曜日を皮切りに、本校は9種目13チームで大会に臨みます。大会を迎えるにあたり忘れてはならないことがあります。それは感謝の気持ちを持って、臨んでほしいと言うことです。特に3年生は、お世話になった顧問、副顧問、コーチ、チームメイト、関わってくれた方々、そして何より保護者に感謝してほしいと思います。感謝の表し方は、最後まで諦めないで全力を出し切ることです。」体調万全で大会を迎えてほしいと思います。

国際交流オンライン

5月16・17日にオンラインを活用した国際交流を2年生で実施しました。1クラスを9グループに分けて、韓国、台湾、トルコ、インドネシア、タイの高校生と交流することができました。はじめはお互い緊張している様子でしたが、アニメやスポーツ等の共通する話題では盛り上がる場面が見られました。9月頃に1年生でも実施予定で、3年生はICE PROGRAM（外国人英語指導員との交流）を12月に予定しています。これらの取り組みを、学習意欲へつなげていかなければならないと思います。



新入生歓迎スポレク大会を終えて



5月7日に行われた新入生歓迎スポレク大会は、前年度までの反省をいかし、生徒会総務のメンバー

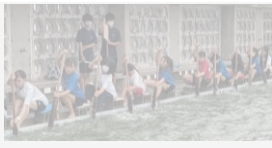
を中心に、年度末から種目やルールを試行錯誤してきました。モットーは、「新入生を歓迎し、みんなが、みんなで楽しめる」です。

「ドキドキどっきんビー玉転がし」は、紙の上でビー玉を転がしてつなぐというとてもシンプルなルールですが、ビー玉とともに学級の気持ちもつなぐ素敵な時間になりました。「五色綱引き」は、いかに多くの綱を引くかが勝負です。1年生が2・3年生と対戦する際はハンデも取り入れましたが、どの学級も強い気持ちとチカラがぶつかり合いどちらに勝負が転ぶかわからないおもしろい種目でした。最後の「ダブルドッジビー」は、ドッジビーのディスクを2つ使う斬新なアイデアで、当たってもあまり痛くないので、どの生徒も積極的に参加していたように感じます。

競技中は、生徒会総務と生活・体育委員会、放送委員会が協力して運営を行い、スムーズな進行となりました。全校生徒を動かす大変さと、競技中の全校生徒や先生方の笑顔を見るととても充実した1日だったと、生徒会総務も話していました。また、準備・運営の面で反省点もあったので、今後活かしていきたいです。【生徒会担当：杉谷 綾乃教諭】



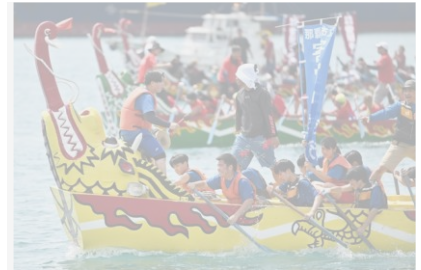
第50回那覇ハーリーを終えて



今年は、寄宮中学校が70周年を迎えることに加え、

第50回記念大会ということもあり、学校を盛り上げ「男女アベック優勝」を目標に練習に取り組んできました。大会当日は、8時半に集合し、海に向かって挨拶をし、全員で校歌を歌って声出しをしてから始めました。男女が一緒になってウオーミングアップに参加することができたこと。みんなで円陣を組んで士気を高めてからレースに臨むことができたこと。屋根付きの待機場所を確保し、万全の態勢でレースに参加できたこと。先生方や地域の方々から多くの差し入れがあったこと。寄宮中の生徒や保護者のみなさまが会場に駆けつけ、たくさん応援があったこと。これらの全てに感謝申し上げます。大会は、残念ながら男女ともに予選敗退で、決勝レースに残ることができませんでしたが、これまでの練習及び大会を通して子どもたちの成長を見ることができました。寄宮中の生徒は会場で一番元気があり、盛り上がっていました。三月からハーリー

に取り組みしている学校は他に無く、1年生も全員大会に参加し、船に乗せることができたので良かったです。ハーリー大会での盛り上がりのように、中体連・YORIMPIC・合唱コンクール等の学校行事でも生徒たちの活躍を期待し、職員一同生徒と共に汗を流し、学校を盛り上げて行きたいと思っております。那覇ハーリーまでの1ヶ月間、朝・昼・晩とハーリー鐘が鳴り響き、地域住民の方々には大変ご迷惑をおかけしましたが、保護者や地域、おやじの会（寄の会）の協力もあり、那覇市消防隊員が指導に来て下さったりと、素晴らしい環境で練習することができたことに感謝いたします。来年こそは優勝旗を持って帰りたいと思っておりますので、今後とも応援宜しくお願いします。ありがとうございました。【ハーリー担当：平良 直哉教諭】



本来、各学校1チームで登録して選抜された生徒のみが出場してきます。本番で漕ぐことができない生徒もいる学校もある中で、本校は中学生男子の部で2チーム登録して、男女混合となりましたが全員が漕ぐことができました。これは、担当の直哉先生の想いが込められています。次年度へつながると思います。ここで、生徒の感想を抜粋してお伝えします。

●3月から始まった練習の中で、人が集まらなかつたり、男子に怒ったこともあったし、乗船練習でも女子にきつく言うときもあったけど、どんな気持ちよりも楽しい気持ちが大きかったです。ハーリー本番ではどの学校よりも盛り上げることができました。みんなの笑顔がたくさん見られてうれしかったです。あまりいい結果は残せなかつたけど、いままでしてきたことが意味のあるものになるように、これからもがんばっていきたいです。（中略）来年は、新1年生を引っ張ってアベック優勝してください。

【女子キャプテン（3年）】

●私たちは、ハーリーの活動を通して、チームワークの大切さを学ぶことができました。3月から練習を始めて、最初は参加者が少なくエーク（オール・櫂（かい））を合わせることも深くエークを入れることもできなかつたけど、月日がたつにつれて参加者も増え、エークも合うようになりました。本番では一人一人に気合いが入り練習の成果をだしながら精一杯がんばることができました。（中略）この良い流れを各部活動の中体連へつなげて、更に寄宮中学校全体を盛り上げていきたいです。来年こそアベック優勝を目指してがんばってください。応援しています。【声出し隊長（3年）】

沖縄コンベンションビュロー講演会

5月24日、2学年の総合的な学習の時間に沖縄コンベンションビュローの方を招いて、沖縄の観光についての講演会を開催しました。5校時には、観光についての基礎知識や沖縄の魅力や観光地等について学び、6校時目はグループワークで観光計画を立てました。沖縄探究から始まり、修学旅行で「世界の観光地京都」の探究へつなげて、発表会での「沖縄の観光を世界一にするためには」の提案を聞くのが、今から楽しみです。



日曜授業参観のお礼

5月19日の日曜授業参観、学校説明会には多くの保護者の方々にご来校いただき誠にありがとうございました。ざっと出席者名簿を確認したところ、授業参観には約200名、説明会には60名に〇がっていました。家族で来校された方々も多いことから、500名以上の来校があったのではないかと予想がつきます。今後も学校行事や発表会等もごございますので、家族総出でのご来校をお待ちしています。